



今日から始める

自然観察

観察会の味方！ ピクチャーカード

自然観察会などで上手にピクチャーカードを使えば、観察のポイントをしっかり伝えたり、その場では見えにくいものを説明したりすることができます。必要に応じて、イラストを加えるなどして、自分のフィールドに適した使いやすいカードに仕立ててください。

干潟の危険な生きもの

広々とした干潟には、特に危険はないように見えますが、やわらかい地面の中や思わぬところに危険が潜んでいます。このカードでは、干潟で見られる代表的な危険生物を紹介しています。観察会のはじめに参加者に注意を呼びかけるのに、使用してください。

「はだし」や「素手」にご用心！

ついのはだしになって歩きたくなりますが、ちょっと待ってください。干潟にも危険な生きものがあります。干潟では、よく目につくカニ類以外の生きものは、ほとんどが砂や泥の中に隠れていて見え



カツオノエボシ

ません。また、ガラスや金属の破片などのゴミも危険です。干潟を歩くときは、はだしを避け、履き物に気を配りましょう。

干潟の潮だまりには、**アカエイ** (①) や**ハオコゼ** (②)、**ゴンズイ** (③) など、毒のトゲを尾やひれに持つ魚が取り残されていることがあります。とくにアカエイは砂の中に潜っていて見つけにくく、ハオコゼやゴンズイは海藻や物かげに隠れていることが普通です。

ヒトデ類の**モミジガイ** (④) なども上向きの固いトゲが体中にあり、引き潮時には砂の中に潜っています。地面を掘ったりするときは、軍手やシャベルを使うなど素手で直接触らないように十分注意してください。

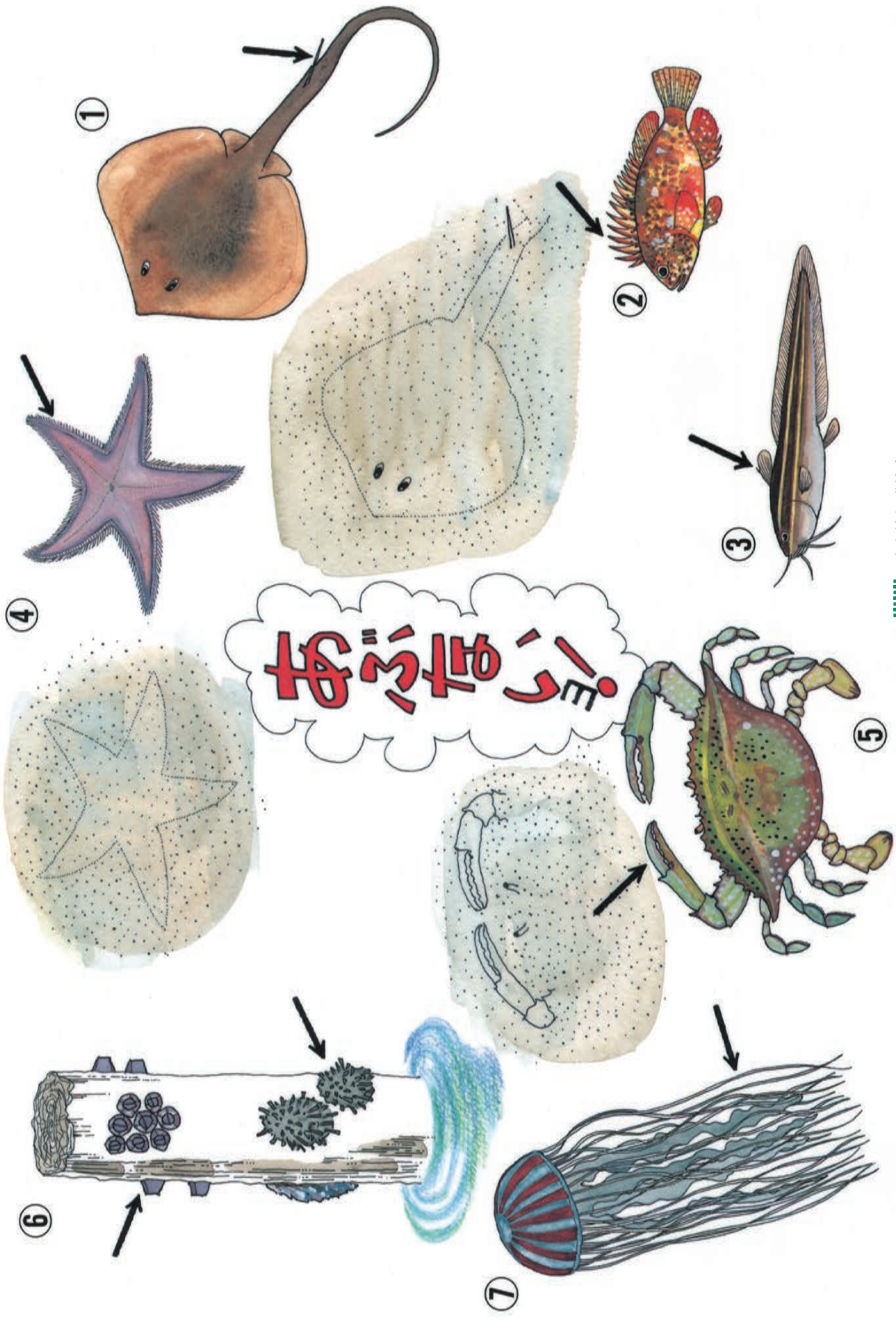
ガザミ (⑤) などカニ類のハサミや岩の表面についている**フジツボ類**や**ケガキ** (⑥) の殻のトゲも危険なものになるときがあります。不用意に手をつかないよう気を付けましょう。

干潟に**アカクラゲ** (⑦) やカツオノエボシなど、有毒な刺胞動物が打ち上がっているときは、毒のある触手に触らないよう注意しましょう。

※ピクチャーカードのページは「NACS-Jピクチャーカード作成委員会」が制作したものを編集して掲載しています。すべてのピクチャーカードは、NACS-Jウェブサイトの「会員コンテンツ」でご覧いただけます。また、会報に掲載したカードは、ウェブサイトの一般公開ページからもダウンロードできます。トップページ左上の「さがす」マークをクリックして、「ピクチャーカード」で検索！

EPSON
EXCEED YOUR VISION

本コーナーは、エプソン純正カートリッジ引取回収サービスを利用されたお客様のポイント寄付によるご支援をいただいております。



海は不思議!